

【研究概要】

「ヒトなど全ての真核細胞は、様々な物質を細胞内外へ選択的に運搬する。この細胞内物質輸送は、細胞内膜交通と称される。各細胞小器官に特異的に局在する Rab GTPase ファミリー（ヒトでは60種類以上ある）は、この細胞内膜交通の場所選択性の決定に必須のタンパク質である。また、Rab は様々なガン発症との関連が近年報告され、新たなガン創薬標的分子としての可能性が拡大している。本課題では、ヒト Rab 精製タンパク質群と人工脂質二重膜リポソームを材料に、我々が世界で初めて開発した再構成 Rab プロテオリポソーム膜動態解析を、ガン関連 Rab 群へと展開し、全く新規なガン創薬スクリーニング系の創出を目指す。」